

【施設状況】

グループ名称	保育園(芋井、青池、清野、西条)								
指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会					法人番号	5100005001689		
所管課	主	117000	保育・幼稚園課	副					
構成施設	1506	芋井保育園							
	1517	青池保育園							
	1499	清野保育園							
	1508	西条保育園							
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	・青池保育園:鉄骨平屋造 398.45㎡、定員20人、保育室2室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 ・西条保育園:鉄骨平屋造 426.87㎡、定員40人、保育室3室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 ・清野保育園:鉄骨平屋造 493.02㎡、定員30人、保育室3室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 ・芋井保育園:鉄骨平屋造 392.40㎡、定員20人、保育室2室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭								
施設設置目的	児童福祉法に基づき、保育を必要とする児童を保育するための認可保育所を設置する。								
基本方針等	長野市保育所設置及び使用条例、長野市特定児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例、長野市特定児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例施行規則、長野市保育所管理規則に定める規定に従う。								
主な実施事業	・保育の実施 ・保育に関する相談、助言の実施 ・特別保育事業の実施								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会			当該指定管理者の 指定回数	6 回	
指定期間	令和3年4月1日	～	令和8年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成18年4月1日
指定 管理 者 の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)					3

2 施設の有効活用

		利用区分等	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		青池保育園 在園児数	人	12	11	13	15	115%	
		西条保育園 在園児数	人	38	38	31	32	103%	
		清野保育園 在園児数	人	34	35	36	36	100%	
		芋井保育園 在園児数	人	20	12	15	9	60%	
		合計	人	104	96	95	92	97%	
		(特記事項)							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の実施</li> <li>・保育に関する相談</li> <li>・特別保育の実施</li> <li>・通園バスの運行(芋井保育園)</li> </ul>							
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案を求めている</li> </ul>							
サービス維持・向上の取組み(広報等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園開放や園行事について、子育て情報誌への情報提供と掲載</li> <li>・一時預かりの実施</li> <li>・行事等に関するチラシの配布</li> <li>・世代間交流の実施</li> </ul>								

3

3 利用者評価

		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	
		(2) 調査、会議等の内容	<p>《青池》玄関前に意見箱を常時設置。年2回の個別懇談会や保護者会、送迎時など保護者から意見、要望の聞き取りを行っている。年度末に行事等のアンケートを実施し、結果を踏まえて次年度の行事や計画等に反映出来るか検討する。</p> <p>《西条》日常的に連絡ノートの活用や送迎時において保護者とやり取りをしている。保護者参加の行事ごとにアンケートの実施、年度末にも一年間を振り返る自己評価としてアンケートを実施した。</p> <p>《清野》送迎の際、担任と保護者とのやり取りの中で要望があれば改善した。個別懇談会を実施し、意見や要望などの聞き取りを行った。入園説明会、保護者会を開き保育園の現状や事業計画など伝えた。</p> <p>《芋井》保護者参加の行事終了後、アンケートを実施し、保護者の意見を把握した。個別懇談会を実施し、意見や要望の聞き取りを行った。</p>	
利用者評価	利用者からの評価・苦情等	(3) 調査、会議等の結果	<p>《青池》アンケート回収率100%。意見箱への投函無し。個別懇談会では全員、要望や意見の聞き取りを行い個別目標に反映した。結果を保護者会等で保護者に周知した。</p> <p>《西条》家庭からの心配事などはその都度対応し、必要に応じて個別面談などを行った。行事についてのアンケートはいただいた意見をもとに次年度に活かせるよう、職員の振り返りと併せて記録している。年度末の保護者アンケートについてはご意見に対し、園としての回答を保護者総会時に行った。</p> <p>《清野》送迎の際、できるだけ担任と保護者が直接やり取りできるように心掛けた。事業計画などは文章にして、保護者総会や入園説明会で具体的に伝えた。個別懇談会では全員に実施し、保護者の想いや願いを把握し、職員間で情報共有し個別目標に反映した。</p> <p>《芋井》アンケート結果を保護者に伝えた。回答が必要な内容については素早く回答し、要望は、職員で検討し速やかに解決できるように努めた。個別懇談会の内容は職員間で共通理解し、個別の支援計画に反映した。</p>	4
		(1) 良好とする評価	<p>《青池》コロナが5類になり、予定していた行事を滞りなく実施できた事は高く評価してもらっている。また、保護者・地域の方の協力により円滑な運営が出来ている。少人数という事もあり、個々に寄り添った暖かい保育を提供して頂いているという声があった。</p> <p>《西条》子どもたちの意見や考えを優先していただいて、のびのび保育園を楽しんでいる。担任の先生以外の先生にも声をかけてもらいよく見てもらっている。行事ごとに工夫をしてもらい親子で楽しく参加することが出来た。</p> <p>《清野》コロナが5類になったことで、運動会や楽しみ会などの行事参加の人数制限を緩和した。体調管理等は引き続き実施したが、体調に気を付ければ両親以外祖父母も行事に参加できるようになり喜ばれた。運動遊び等体幹を鍛える活動については評価が高い(巧技台の追加導入も好評。)</p> <p>《芋井》アンケートの回答から次のような高い評価を受けた。「親子遠足は、全員が楽しめ、保護者同士の親睦も深まった。」「保育参加日では、生き生きと活動する姿が見られ嬉しかった。」「夏祭りでは再開した飲食コーナーで、保護者同士の交流が持てて良かった。」「運動会では、伸び伸びと活動する姿、成長が見られた。保護者、兄弟の参加種目もあり楽しめた。」「クラス懇談会では、悩みにアドバイスがもらえて良かった。」「一年を通して、状況に合わせて行事、日々の保育、共に内容が工夫されていて良かった。」</p>	
		(2) 苦情・改善等の要望事項	<p>《青池》苦情・要望等を求める意見は出ていないが、保育園継続を心配する声がある。</p> <p>《西条》①平日開催の誕生日会などの動画を見せてほしい。年度初めに出た保護者の意見は取り入れてほしい。②黄砂の飛散が多い時に屋外で遊ばせるのはいかがなものか。</p> <p>《清野》行事等、事前にお願いくことで協力していただけることも多かった。問題・疑問に思ったことはその都度園に話していただいたり相談していただく事でトラブルなど見られなかった。園庭遊具(太鼓橋・鉄棒)の老朽化が見られるが、園児や保護者から継続利用希望がある。</p> <p>《芋井》①園児が少なくなるため交流の機会を作って欲しい。②給食試食の機会を作って欲しい。</p>	
		《対応措置》	<p>《西条》①職員の体制などもあり行事では写真撮影をすることはできるが、動画撮影用のカメラなどもないためご理解をお願いした。②毎日黄砂の飛散状況を確認し、飛散の多い日は屋外での活動を控え、屋内での活動に努めた。</p> <p>《清野》令和6年度中に遊具の入れ替えを計画。</p> <p>《芋井》①加茂保育園との交流を計画した。月2回、年21回実施している。芋井小学校との交流回数を増やした。(月1回程度)運動会を合同で開催した。②給食試食は、R6年8月頃実施予定である。</p>	

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和5年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和5年度決算		令和4年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	2,998,000	利用料金	2,869,190	歳入	使用料		使用料	
	指定管理料	146,390,000	指定管理料	168,717,530		雑(納付金)		雑(納付金)	
	委託料		委託料			行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	
	販売収入等		販売収入等			貸付料		貸付料	
	その他収入	14,380,000	その他収入	6,573,001		その他		その他	
	バス運行事業	2,976,000	バス運行事業	2,947,000		保育料	9,449,680	保育料	7,173,790
	補助金	2,654,000	補助金	2,794,171		国・県補助金	61,000	国・県補助金	3,106,840
	計	169,398,000	計	183,900,892		計	9,510,680	計	10,280,630
支出	人件費	138,893,000	人件費	139,510,023	歳出	指定管理料	168,717,530	指定管理料	167,771,560
	設備管理費	1,116,000	設備管理費	939,832		委託料	2,947,000	委託料	3,114,000
	備品購入費	5,158,000	備品購入費	4,734,994		需用費		需用費	
	修繕費	1,670,000	修繕費	1,054,704		役務費		役務費	
	光熱水費	6,503,000	光熱水費	5,287,810		使用料・賃借料		使用料・賃借料	
	事業費	9,590,000	事業費	7,375,113		修繕費		修繕費	
	事務経費	7,640,000	事務経費	6,182,941		工事請負費		工事請負費	
	本社経費	5,818,000	本社経費	5,906,328		備品購入費		備品購入費	
その他	13,617,000	その他	6,471,942	補助金	2,777,511	補助金	7,376,375		
計	190,005,000	計	177,463,687	計	174,442,041	計	178,261,935		
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		-20,607,000		6,437,205	差引			-167,981,305	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和5年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合) 78.6%									
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由				本部経費計算職員が複数施設を兼務していることに伴う人件費増額による。					

3

5 管理運営全般 ※すべて  で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 園長4(3)人、保育士46(43)人、調理員15(14)人、バス運転手3(3)人、バス添乗員1(1)人 計69(64)人		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフトラッキング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか		☑
2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか				

7 地域連携

地域連携	評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	4
協定内容・指定管理者提案	
追加された内容、未実施の内容及びその理由	
・地域の関係団体と連携し、子育て支援の実施。 ・地域行事への積極的な参加。	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	総合評価 70 
施設の有効活用	3	6	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	4	16	
危機管理体制	3	12	
地域連携	4	8	
合計得点		70	

評価理由

・「利用者評価」について、コロナウイルスが5類に移行したことに伴い、各園での行事等の制限を緩和し、保護者同士の交流や両親以外の家族、地域住民が参加できた。また、利用者アンケートでも、コロナ禍で見合わせていた行事を再開したり、制限を緩和したことで行事に参加できたことが高評価につながっていることから「4」とした。  
 ・「管理運営全般」について、職員の適正配置をしていること、研修への積極的な参加による職員・保育の資質向上を図っている。また、法人によるセルフモニタリングを実施することで、適切な施設運営が管理できていることから「4」とした。  
 ・「地域連携」について、職員はほぼ市内雇用、世代間交流等の地域行事への積極的な参加、地域の各種関係団体と協働・連携し、地域貢献ができたことから「4」とした。

取組み・改善案等 (施設所管課)

前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
様々な事情により入所人数が少なく困難な状況だが、特色を出した保育の実施により園児獲得に努める。	立地的にも厳しい状況の中、特に0～2歳児の途中入園を受け入れることができた。 利用者からの要望等にも常に真摯に向き合い迅速丁寧な対応をし、信頼を得ている。	

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)

・園児の人権を尊重し、一人ひとりが安心・安全な環境の中で、園児主体の保育、行事等実施していく。  
 ・地域や小学校との連携をより強く図り、一時保育や園開放を通じてさらなる魅力を発信し、園児の確保に努める。  
 ・令和8年度の指定管理更新に向け、管理運営方針について指定管理者と協議を行う。

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

《青池》コロナ感染防止に努めながら計画した行事全てを実施する事が出来た。発達相談員の巡回指導を継続して行い、気になる園児の保育方法についてのスキルを習得した。また、様々な研修に参加し保育の質の向上に努めた。恵まれた環境を生かした保育を行った。

《西条》より良い保育の場であるように、職員が参加した研修について内容を共有した。また、地域のニーズにこたえられるよう体制を整えて、途中入園を積極的に行った。保護者からの意見を聞きながら、行事についても感染症予防に努めながら開催した。小学校と連携し、季節の行事などで交流を図った。《清野》障害のある園児や発達の気になる園児の受け入れをする中で、日々の活動が制限されないように保育の内容を工夫した。遊具、運動遊び(体幹を鍛える運動・感覚遊びなども工夫して取り入れた。)を充実させた。引き続き感染症対策を実施する。小学校との交流、地域・祖父母などとの交流も感染対策をしながら少しずつ再開した。子どもの様子が見られ嬉しかったもってやっで欲しいとの声があった。発達相談・巡回指導等も引き続き利用。保護者の心配事の解決策にも繋げられた。

《芋井》新型コロナの感染防止に努めながら、中止していたクラス別懇談会、飲食を伴う行事を再開した。障害のある年長児1名が、週2日併用利用した。発達支援相談員の指導内容を職員間で共通理解し、統一した保育に努めた結果、友だちと一緒に遊んだり、椅子に座って落ち着いて活動出来るようになり、安心して小学校へ入学することが出来た。芋井小学校との交流を増やした。NPIC体育指導、畑の活動(大根の収穫・調理体験)を一緒にしたことで、来入児の特性を理解してもらうことが出来て、スムーズな接続に繋がった。芋井地区子育てサロン「いいつなつ子の会」の開催場所として保育園を開放した。

② 業務の効率化に対する取組み

《青池》勤怠システムで勤務時間の管理を行い、なるべく勤務時間内で業務を終わらせる努力をした。・支援システムの活用をし、業務効率化を図る努力を行った。

《西条》園内のネットワークやICT環境を整え、時間内に記録などが進められるようになった。職員間で効率の良い業務を意識して、協力しながら環境整備なども取り組むことが出来た。

《清野》勤怠管理システム導入で時間外など個人でも把握でき易くなっており、勤務時間中に記録時間をもうけているが、なかなか時間外減に繋がっていない。出欠時間記録をタブレットで年度途中1月から実施。その場で入力可能のため、業務の省力化には繋がっている。

《芋井》園児の個人記録作成を毎月から3ヶ月毎に変更し業務の軽減に繋がった。

③ その他

《青池》BCPの研修に参加し策定を行った。

《西条》安全計画についての研修を受け、日常的な危機管理や災害時の対応につなげられるマニュアルやBCPの作成に取り掛かった。来年度に策定の完了予定。また、時間を設定しない災害時の避難訓練も開始した。

《清野》安全計画・BCP計画を作成。ヒヤリハット等の記入用紙の見直し。権利擁護、虐待防止アンケート全ての職員で実施し、職員間で共有した。

《芋井》「安全計画」「BCP計画」を作成した。「ヒヤリハット報告書」を記入しやすく、分かりやすい様式に変更した。非常災害時の家庭への連絡を大規模災害時にも受信が安定してる「オクレンジャー」で行うことにした。R4年度から災害時の園児の保護者への引き渡し訓練を継続している。「権利擁護、虐待防止について」のアンケートを実施した。アンケートに回答することで、自分の保育を振り返ったり、言葉がけを見直したりする機会となった。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

《青池》園舎、厨房、遊具などの老朽化が進み修繕箇所が増えている。保育園存続についての保護者や地域から心配の声がある。

《西条》園の体制を整え、未満児を中心に地域のニーズにこたえられるよう年度途中の入所を積極的に行ったが地域における園児の減少は避けられず、運営についても協議が必要である。施設の老朽化は顕著であり、園児が安心して生活できるよう継続的な修繕も行う必要がある。

《清野》食器消毒保管庫の入れ替え実施。以前の物より小さめのため、大きな調理器具を入れにくい。耐震工事して数年なのに破損部分が目立つ。特に廊下部分の傷みはひどく突起物の他にひび割れ、床材が割れ剥がれが目立つ。

《芋井》施設、設備の老朽化が進み、年々修繕箇所は増加している。蛍光灯からLEDへの変更は令和3年度から継続して実施している。園児の減少による保育園の存続が心配。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり  
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者  
自己総合評価

B

① 評価理由

《青池》7月に未満児が1人入園したことで目標利用率の70%を上回ることが出来た。感染防止に努めながら行事を遂行出来た。積極的に研修に参加した。園児主体の保育を遂行する努力をした。

《西条》年度途中の受け入れを積極的に行い、利用率の目標値は達成した。また、感染症拡大予防に努めながら保護者の協力や理解のもとに行事などの参観を開催した。

《清野》利用率目標値を達成できている。コロナが5類になり引き続き感染対策を行いながら、行事等以前の形に戻しているため、保護者や祖父母から良かった、これからもっと参加したいとの声が多く聞かれた。安全計画、BCP計画を作成した。保護者にも災害時の対応を理解していただけた。

《芋井》利用率が目標値を上回った。新型コロナの感染防止に努めながら、保育・行事を見直し、保護者から好評だった、飲食を伴う行事、クラス懇談会を再開させた。「安全計画」「BCP計画」を作成し、職員の安全への意識を高めた。保護者へも災害時の対応を伝え、安心していただいた。芋井小学校との交流を増やした。小学校の先生方へ来入児の保育園での様子を知ってもらい、スムーズに小学校へ接続出来るようにした。

② 次年度以降の取組み

《青池》継続して子供主体の保育を行う。保育の質の向上に努める。地域、学校との一層の連携を図る。

《西条》園児の園生活が豊かであるように、職員は自分自身の資質向上に努めながら小規模園の特徴を活かした保育を目指す。地域、小学校との連携や関りを大切にしながら園児の確保に努める。

《清野》清野小学校が次年度で閉校。最後の交流をしっかりと行いたい。R7年度から松代小学校が地元の指定小学校となるため、交流など持てるように清野小学校と共に話し合いながら今後の対応を進めていく。清野小学校を借りての運動会・避難訓練等の今後の在り方が課題。跡地の整備・プールなど含め荒れていく部分の手入れの仕方など市と話し合っていく。

《芋井》地域、小学校との連携、交流を図っていく。インスタグラム等で芋井保育園の保育を発信し、園児確保に繋げていく。一人ひとりの子ども達が安全な環境の中で、友だちと関わりながら主体的に遊べる環境作りに努めていく。